

COVER STORY



中西香爾さん

コロンビア大学名誉教授。名古屋大学で理学博士号取得。同大在学中にハーバード大学に留学。東京教育大学理学部(現、筑波大学)教授、東北大学理学部教授を経て、1969年にコロンビア大学化学教室の教授に就任。2007年より同大名誉教授。

中西さんは、1925年に父親の仕事の関係で香港で生まれた。その後リヨン、

ドの研究で知られている。

コロンビア大学名誉教授で、天然物化学者・有機化学学者の中西香爾(こうじ)さん(89)。その年齢を感じさせないのは、柔軟な面持ちの中に時折見せる鋭い眼光や、茶目っ気たっぷりの笑顔に、強い生命力が宿るからだろう。天然物の分子構造を決定する「構造決定」の分野での業績が名高く、特にイチョウ葉に含まれるエキス(ギンコライド)の研究で知られている。

戦後初の留学生

ロンドン、アレクサン드리ア(エジプト)を経て、小学校4年生のときに日本に戻った。

名古屋大学大学院に在学中の25歳のとき、アメリカ政府のガリオア・プログラム(現フルブライト奨学生金)により、ハーバード大学に留学。戦後初の留学生として渡米した中西さんは注目され、日本から著名な教授陣が次々に訪ねてきて、渡米した中西さんは

東北大学の教授だった60年代半ば、日本の大学で主流だった「講座制」と呼ばれる伝統的な教員制度に対し、中西さんはさまざまな側面において閉鎖的だと

批判していた。また、すでにギンコライドの研究で世界的に注目されていたた

め、日本を離れ、民主的な

教員制度が根付いた国

大学へ移ることを決意。

最終的にコロンビア大学

とイギリスのマンチエスター

大学に絞り、2、3回両

大学を訪れたが決心がつか

ない。最後にもう一度、両大

学に行ってから決めよう

と、コロンビア大学に電話。

大学を訪れたが決心がつか

ない。最後にもう一度、両大

学に行つてから決めよう

と、コロンビア大学に電話。

大学を訪れたが決心がつか

ない。最後にもう一度、両大

学に行つてから決めよう